



学校だより

伸びゆく子

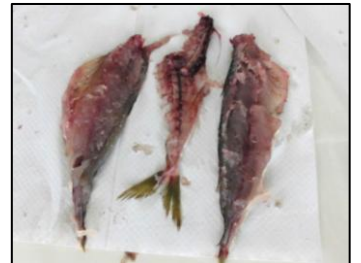
令和8年6月30日
横浜市立中沢小学校
7月 号

「本物」が子どもを変える

副校長 前山 健

6月、4年生は七沢宿泊体験学習、5年生は三浦宿泊体験学習に出かけました。自然や地域に直接触れる中で、子どもたちは教室の中だけでは決して得ることのできない「本物の学び」に出会いました。4年生は宮ヶ瀬ダムの見学を通して、「水ってこんなふうに私たちの生活を支えているんだ」と驚きの声を上げ、森林ゲームでは「みんなでやると楽しい」「協力するとできる」といった気づきを実感していました。クラフト体験では、「こうしたらもっとよくなるかな」と試行錯誤する姿が見られ、一人ひとりの工夫やよさが作品にしっかりと表れていました。

一方5年生は、小網代の森の散策が雨により変更となる中でも、その状況を受け止め、柔軟に行動する力を発揮しました。漁港では漁師さんの言葉に真剣に耳を傾け、「命をいただく」ということの重みを自分事として捉える姿が見られました。さらに、マンボウやサメ、ハンマーヘッドシャーク、ウミヘビ、カジキマグロの角等に実際に触れる体験では、「思ったよりかたい」「ちょっとこわいけどすごい」と、驚きと感動が入り混じった声があがりました。アジの手開きに挑戦した際には、「できた!」「命をいただくってこういうことなんだ」と、達成感とともに深い学びを得ていました。また、農家の方のお話や収穫体験を通し、食べ物がどのように、どのような思いをもって育てられているかを実感することができました。



見事な三枚おろし

これらの体験は、単なる思い出ではありません。社会や理科の学びと結びついた「生きた学び」です。そして何より、「楽しい」「びっくりした」「大切にしたい」といった子どもたちの言葉の一つ一つが、心が動いた証であり、確かな成長の跡です。同時に、「もっと時間を守りたい」「みんなのことを考えて行動したい」といった振り返りの声からは、これからの課題と目指す姿も具体的に見えてきました。

体験学習でしか得られない学びがあります。見て、聞いて、触れて、感じる中でこそ、学びは自分のものになります。本物に出会った経験と、そこから生まれた子どもたち自身の言葉を大切にしながら、これからの学校生活につなげ、一人ひとりのさらなる成長を支援していきます。家庭、地域の皆様の今後益々のご理解、ご協力をお願いします。